



産業デザイン研究部の活動方針

目 標	【産業デザイン研究部の年間目標】 ○自主自立（自律）を掲げ、生徒の主体的な活動を目指す。 ○デザイン分野や芸術分野に広く関心を持ち、造形感覚等の感性を高めることを目指す。 ○部活動を通して、学習意欲の向上や自己肯定感、責任感、連帯感の育成を目指す。 ○部活動を通して、ルール遵守、基本的生活習慣の向上を目指す。 ○地域と連携した活動を通して、郷土愛の涵養、地域貢献、社会参加の意識向上を目指す。	
活動方針	【活動方針】 ○生徒の健康管理に十分に配慮し、適正な休養日を確保する。 ○活動は計画的に実施し、合理的でかつ効率的・効果的な活動を行う。 ○道具や活動場所の5S運動により、安全で使いやすい環境を保つ。 ○熱中症予防対策として、熱中症計を活用した活動のリスクマネジメントを構築する。 【休養日】 ○学期中は、週3日を休養日とする。 ○夏期休業中と年末年始に連続した休養日を設定する。 【活動時間】 ○学期中の活動は、平日18時までとし、完全下校とする。土日祝は3時間程度とする。 ○定期試験初日の1週間前から休みとする。ただし、大会参加等の事情がある場合は、校長の承認を得て活動を実施する。その際の活動は1時間以内とする。	
年間計画	参加予定大会等	その他
4月	○足利市学生チャレンジショップ	○各種コンクールへの応募は希望者とし、年間を通して随時計画する。希望者は、あらかじめ顧問へ相談の上、材料や活動場所等の支持を受け、計画的に活動する。 ○作品の実物を鑑賞することは、感性を磨くうえで大変効果的であるため、美術館、博物館、大学等へ出向く機会を設ける。 ○他校や地域との交流を積極的に採り入れて活動計画を立てる。相手先が遠方の場合には生徒のタブレットを活用したウェブ会議などで移動時間の短縮、負担軽減に努める。
5月	○足利市街地の文化財研修	
6月	○地域の企業見学	
7月	○美術館見学	
8月	○美大・専門学校の見学	
9月	○足工祭に向けた準備	
10月	○美術館見学	
11月	○足工祭の参加	
12月	○足利中央特別支援学校のみどり祭の参加	
1月		
2月	○文星芸術大学の卒業制作展の見学	
3月	○桐生短期大学の卒業制作展の見学 ○文星芸術大学での陶芸教室	